

# Hybrid of Life

宮若市と

このまちで暮らすひとたち

人は暮らす場所で、変わるかもしれない  
十人十色の人からみる多彩な暮らし方



# 宮若市って どんな場所？

HOW TO MIYAWAKA



HOW TO  
MIYAWAKA  
01

## 豊かな水と 米づくりに最適な風土

宮若市は山で囲まれた盆地ゆえ寒暖差が大きく、清らかな水にも恵まれ、古くから良質な米の産地として名をはせてきました。炊きあがりがつややかで、甘みも粘りも絶妙。江戸時代に黒田藩のお殿様が好んで食べたという逸話も納得の美味しさです。



HOW TO  
MIYAWAKA  
04

## 福岡市と北九州市まで 約40分の好アクセス

宮若市は、福岡市と北九州市の両政令指定都市のほぼ中間に位置し、九州自動車道（若宮インターチェンジ）を利用すると両都心に約40分でアクセスできます。



HOW TO  
MIYAWAKA  
02

## 子どもたちが自然と ふれあい成長できる環境

自然が豊かな宮若市。虫が生息する清流も多く、都会では考えられない自然とふれあいながら成長できる環境があります。緑の多い、大きな公園も自慢です。



HOW TO  
MIYAWAKA  
05

## 定住を応援する 制度が充実

新婚・子育て世帯を対象に、民間賃貸住宅の家賃の一部を月々最大2.5万円（最長3年）補助する「家賃補助制度」や、新しく住宅を取得した方に固定資産税相当額を最大7年間交付する「定住奨励金」など、宮若での新生活を応援します。



HOW TO  
MIYAWAKA  
03

## 古く奈良時代からの 歴史を持つお湯処

犬鳴峠のふもとの静かな山あい、遠賀川の支流・犬鳴川沿いに広がる脇田温泉。春は桜、新緑がまぶしく、ホタルが舞う夏、秋は紅葉、冬は雪景色。四季折々の風景を眺め感じながら、悠久の時の流れに身を任せて、感動的なひとときを過ごせます。



# Hybrid of Life

移り住む人 × 住みつける人  
たくさんの豊かさに気づくことができる暮らし

宮若市はどんなまち？  
都会ではないし、田舎すぎるわけでもない

なにがあるの？と聞かれると  
自然がたくさんで、水もお米も野菜もおいしくて  
人と人とのつながりが深い風土があって  
実は自動車産業が盛んなまちでもあって

そんなまちに住みながら  
ものづくりをする人  
地域を愛する人  
新しい生活を始める人

“宮若市”と“暮らし”を見つめることで  
当たり前すぎて見すごしていた  
たくさんの豊かさに気づくことができた

宮若市を知らないあなたに伝えたい

宮若市と このまちで暮らすひとたち

## I N D E X

|                   |                      |                  |
|-------------------|----------------------|------------------|
| P03 …… 宮若市とは      | P17 …… 子育ての話         | P26 …… 脇田温泉ホッピング |
| P04 …… 暮らす人の物語    | P18 …… インスピレーションツアー  | P28 …… 散策マップ     |
| P14 …… お米の美味しさ    | P20 …… 宮若に暮らし、宮若に勤める | P30 …… 基本情報      |
| P15 …… 暮らしを応援する制度 | P22 …… 味わう宮若         |                  |
| P16 …… 新生活の話      | P24 …… お店の話          |                  |

## ここにしかない景色 ここでこそできる暮らし

無農薬・無化学肥料で野菜づくりを行っている百家さんご夫婦。新鮮でみずみずしい安心安全な野菜のおいしさは口コミで広がり、市内外にリピーターが増えています。心とカラダにやさしい野菜と暮らしをつむぐ、あたたかい日常。

### 百家 亮 さん

北九州市出身。九州一周ヒッチハイク、東海道五十三次（東京～京都間487.8km）を徒歩で制覇。その後、四国へ向かいお遍路を行う。様々な環境、人に感謝する中で「豊かさとは」を問い、土を選んで田舎暮らしを決意。2年間の農業研修後、結婚を機に宮若市へ移住し、2006年より有機農業を始める。妻の由希子さんと息子の一之助くんと3人暮らし。



ももかのうえん

百家農園

宮若市上大隈762-4

9:00 ~ 17:00

定休日 不定休

1) 畑で採れたみずみずしい野菜達。野菜嫌いな子どもが、百家さんの野菜は「甘くて美味しい」と言って食べてくれるという。2) 午後は直売所で出荷作業。季節の野菜情報は百家農園ブログで確認できる。3) 2017年にオープンしたいちご直売所。めずらしい野菜もある。4) 作業の合間や仕事終わりに、愛犬オハナと「犬鳴川河川公園」を散歩する。他にも、イノシシ・ミニ豚・ニワトリと共に暮らしている。

### どんな野菜が育つか 毎日わくわくします

「宮若は、ちょうどいいまちだと感じています。このまちが好きなんですよ」。屈託のない笑顔で話すのは、市内の数ヶ所に畑を持ち、無農薬で様々な野菜を作っている百家さん夫妻。有機栽培で野菜づくりに取り組む大分県の農家で研修を行い、結婚を機に農業をするため宮若の土地に移り住みます。

有機農業を実現させている百家さん。そこには試行錯誤があり、「百家農園」としてあり続けていくための努力を積み重ねています。「湿度や天気など微妙な変化で収穫が変わる。自然が相手の仕事は、経験と勘が頼りです。厳しい気候を乗り越えて野菜が育ってくれたときの喜びは大きいですね」。できた新鮮な野菜は、市外のホテルや飲食店から買い付けにくるほど評判を呼んでいます。

百家さんは土作りについて、無条件にその土を受け入れ、

土に寄り添ってみるのが大切だと感じています。「ありのままの自分をゆだね、周囲の力を借り、感謝する。そうすることで、宮若での暮らしも人づきあひもまた、ちょうどいい折り合いがみえてくるのかもしれない」。

「宮若は、風土や気候を味方につけ、足元の恵みを利用し、助けあいながら暮らしていく気風があります。周囲を山に囲まれています。空が広く、朝日と夕日が綺麗。新しく移り住んできた人、古くからの地に根ざしてきた人が支えあいながら暮らすこのまちは、居心地がいいです」。

当たり前の豊かな日常は、きつとこれからもここで続いていきます。



野菜の収穫を手伝う4歳の一之助くん。畑で遊ぶことも多いという。「周辺に公園や保育園などもあるので、助かっています」。(百家さん)

## まちを元気にする魔法 人との交流が、住む場所を輝かせる

“宮若市に愛され、宮若市を愛する女性”。  
「自称なんですけどね」そう笑顔で語るのは、  
北九州市立大学地域創生学群で地域づくりを学ぶ田村唯さん。  
住んでいるまちを愛する、これまで歩んできた軌跡。

### 田村 唯さん

大好きな宮若市を活性化させたいという夢のもと、北九州市立大学地域創生学群で地域づくりを学び、“楽しみながら”をモットーに地域と関わっている。小学5年生から現在まで劇団宮若レインボーカンパニーに所属し、趣味のミュージカルを楽しんでいる。好きなミュージカルは「レ・ミゼラブル」。



1) 地域に暮らす大人と交流を深めていくなかで、宮若市愛がどんどん募っていたという。2) 3) 宮若フットバス体験会では、まちを“歩く”ことで、新たな発見や地域の人々との交流が生まれた。お昼は軽トラカフェのおもてなしがあり、地元の食材を使用した箱ご飯などがふるまわれた。



4) 5) 劇団宮若レインボーカンパニーによる市制施行10周年記念ミュージカル。会場が笑顔と感動に包まれた。

### 一歩を踏み出すことは 怖くない

「当時は自己主張ができず、周囲の意見に流される子でした」。小学生の頃を振り返りながら話す田村唯さん。そんな引っ込み思案だった田村さんを変えた大きなきっかけが、ミュージカルを通してふるさとの魅力を発信している市民劇団〈劇団宮若レインボーカンパニー〉との出会いです。高校生の時、定期公演で宮若の歴史をテーマに演じることで、ふるさとについて深く知ることができ、感銘を受けたといいます。また、劇団に関わる大人と交流を深めていくなかで、田村さんの宮若愛がどんどん募っていったそうです。

「もつとたくさんの人に宮若市の魅力を知ってもらいたい」とそんな想いから、地域づくりを学ぶため大学へ進学。大学二年生の時、ありのままの自然や風景、地域の人たちとの交流を楽しみながら散策する〈フットバス〉という活動があることを知ります。その活動に共感し、先進地と言われる熊本県美里町で、三ヶ月間住み込みのインターンシップを行い、ノウハウを学びました。

「宮若市でもフットバスを通じて、自分の暮らすまちの魅力を知ってもらいたい」とインターン終了後、動き出します。鞍手高校の取り組みの一環で、高校生と連携してフットバス「福丸コース」を企画したり、地域の人の協力を得てそのコースを広げ、〈宮若フットバス体験会〉を開催したりしました。幅広い年代の参加者に恵まれ、『こんなところがあつたんだ』と新たな発見の連続だったと喜んでもらえたことに、確かな手応えを感じたといいます。

「地域活動など、一歩踏み込んで携わると、人との出会ってこんなに楽しいことなんだと感じます。自然豊かな場所だけでなく、このまちに暮らしている人も、大事な宮若市の地域資源だと思っています」。そう目を輝かせながら話す田村さんの宮若愛は、活動を通じて多くの人に広がっていきます。



## つくることは生きること 四季を感じる理想の暮らし

山手の緑に囲まれた土地で窯元を営む石原さんご夫婦。石原さんの焼き物は“使う”ことを第一につくられ、気取らない温かみのある器には、その確かな技術と焼き物づくりへのひたむきな想いが込められています。

### 石原 祥充 さん

1971年大阪生まれ直方育ち。多摩美術大学彫刻科卒業後、京都市立芸術大学大学院修了。2002年に宮若市に移り、石原祥窯にて陶芸を学ぶ。2006年に野乃窯として独立。妻の野枝さんと愛犬ガルバ、愛猫モルタルと共に暮らしている。



1) ギャラリーに並ぶ器たち。春と冬の窯開きには市外からも多くの人が訪れる。2) 野枝さんの趣味は果樹栽培。庭に植えているブルーベリーや梅など、季節に合わせて収穫し、食卓に彩りをそえる。3) 工房での作業風景。手を動かしている姿が浮かんでくるという。4) 学生時代からの趣味である散歩。5) 野乃窯は“野にあるような窯元”との思いを込めたもの。6) 石原さんの手作りの登り窯。

### 野乃窯

宮若市山口1089

0949-52-2052

10:00～日没頃まで

定休日 不定休



### 土と向き合い 自然と共に暮らす

周囲が緑に囲まれた山裾に、石原さん夫婦が暮らしながら営む、窯元「野乃窯」はあります。実家が窯元でもある石原祥充さんは、東京の美術大学で彫刻を専攻し学んでいた時、妻の野枝さんと出会いました。

卒業後、京都にある美術大学で非常勤講師の仕事をしていましたが、業務に追われ忙しい日々だったと言います。「静かな環境で、ものづくりに専念したい」という想いから理想の住まいを探し求め、

京都から宮若市へ移住しました。「四季を感じ、里山の風景があるところに住みたかったんです。土地探しをする中で地元の方との縁がきっかけで、この場所に巡り会いました」。当初は竹藪だった庭を自ら開拓し、自然に囲まれた土地での暮らしやすさを実感。「家から一歩出ると、夜は月や星の動きがくつきり見え、朝露はとても幻想的。そんな環境で四六時中ものづくりに専念できる理想の暮らしを送る

ことができている」と話す石原さん。この場所から愛情込めて生みだされた器は、ずっと手になじみほっこりと温かな質感に溢れています。

朝と夕方、愛犬のガルバと散歩し、日没の時間まで器と向き合う日々。「ひとつとして同じものがないのが、この仕事の魅力です。少しの変化に目を凝らし、静かに、完成するまで土と向き合うことが重要です。季節によって仕事の進め方や、窯を焚く度に出来上がった焼き物の表情が変わるので、常に新鮮な気持ちで臨めます」。

土に寄り添い、自然と共に暮らすこのまちでの日常。「作ることが面白くて」と語るものづくりへの一途さは、これからも変わらずにずっと続いていくのだろう。



来客には珈琲と手作りのお菓子を。器を手にとれば自宅での使い方を楽しく想像してしまうものばかり。



## 「この味を守り継ぎたい」 システムエンジニアからラーメン屋店主へ

システムエンジニアを辞め、義母が経営していたラーメン屋「来々軒」を引き継ぐ事を決意した山路重紀さん。福岡市から店舗兼住居がある宮若市に移り住んだ過程には「この味を守り、より良いものを作っていきたい」という想いがありました。

### 山路 重紀 さん

福岡生まれの関西育ち。福岡大学大学院卒業後、システムエンジニアとして関東を中心に4年間勤務。その後Uターンで福岡に戻り7年間SEを続ける。2012年来々軒を継ぐため、脱サラして宮若市へ。現在4歳になる男の子の子育てにも奮闘中。



1) 澄んだ清湯とんこつスープで、麺はストレートの中細麺、滋味深い豚骨のうま味が口の中にふわっと広がる。2) 山路さんと妻の一笑さん。家事・育児は交代制。3) 営業時間の合間には、お店の正面にある「ハートフル」の遊具で子どもと遊ぶことが多い。

ちいらいけん  
来々軒

宮若市福丸270-2

0949-52-0168

11:00 ~ 14:00, 16:30 ~ 22:00

定休日 水曜日



4) 若宮商工会青年部部長を務める山路さん。朝活として朝の6時から会議が行われる。5) 創業当時から変わらない入口前。追い出し猫が描かれた竹灯籠も目印になっている。

### 移住して、もう一つの ふるさとを見つけた

宮若に多くのお客さんで賑わうラーメン屋があります。そこは昭和三十八年に創業した来々軒。三代目店主である山路重紀さんと一美さん夫婦を中心にお店を切り盛りしています。

「最初に食べた味が忘れられませんでした」。一美さんの実家が営む来々軒のラーメンが、山路さんの人生を大きく変えることになりました。結婚してからは、将来的に継いで、この味を残したいという想いで、週末ごとにお店に通って手伝っていました。平成二十四年、義母が体調を崩したことをきっかけに会社を辞め、お店に入ることを決意した山路さん。元気になった義母の助言を受けながらスープ作りを学び、正式に三代目店主となりました。

「豚骨ラーメンが苦手な人が、来々軒のラーメンなら食べられる」と言ってくれるなど、お客さんがくれる一言がやりがいです。うちの味は他にないと思っています。ベースは守りながら、より良いものを作ってきたいです。ちゃんぽん、餃子、手羽先の唐揚げ

など五十年以上変わらないメニューは、常連客の間で派閥が別れる程どれも人気商品です。

「宮若の良さは水やお米が美味しいところ。一番は住んでいる人が魅力的なところですよ」。都心に住んでいた頃は人との繋がりが希薄だったそうですが、移住してからは、山笠・盆踊りなどの地域行事にも協力しています。

「あつて当たり前と思われる行事は、このまちのために」という気持ちを持ち続けている人がいたから続いているんですよね。若宮商工会青年部部長を務め、温泉旅館を食し切ったの婚活など、積極的に地域を盛り上げるイベントにも力を注ぐようになりました。

「今まで様々な場所に移り住んできましたが、ずっと無機質な生活を送ってきたように思いますが、今はこの場所でお店をしながら、地域に積極的に関わり、このまちをもっと良くしたいという気持ちを強く持つようになりました」。

宮若に根を張りながら真摯にラーメンと向き合う日々。伝統の味は、未来に受け継がれていきます。

## こだわりから生まれた 卵にかける思い

植物性のオリジナル飼料で育った鶏から生まれる卵、「地黄卵」は、深い甘みとコクが自慢でビタミンEが豊富。市内外のファンに愛されています。その背景には、荒牧博幸さんの卵に対しての大きなこだわりがありました。

### 荒牧 博幸さん

「地黄卵」を販売する株式会社地黄卵、代表取締役社長。市内の民間企業に4年間勤め、25歳のときに父親から養鶏場を受け継ぐ。飼料の主原料は植物性のものを独自に開発し、鶏の育て方、出荷までの品質管理に至るまで、全てにこだわって自社農場で行い、産地直送販売で提供している。平成23年全国農業コンクール優秀賞受賞。



1) 長年の研究と経験から生み出された「地黄卵」。2) 2002年にオープンした直売所「たまごの里」。卵だけでなく、地元野菜や加工品なども販売しており、オープンと同時に市内外からのお客さんと賑わう。3) 遺伝子組み換えをしていないトウモロコシを使用した植物性の飼料。通常の卵よりコレステロールや脂質、カロリーが低いのもうれしい。4) 2万羽以上の鶏を管理している2階建ての鶏舎。

### じおうらん 地黄卵

宮若市山口2533-1

0949-52-2905

9:00 ~ 19:00

定休日 月曜日

「安全で、安心して食べてもらえる卵を届けたい」。市内で養鶏業を営む荒牧博幸さんは、試行錯誤を重ねた末、オリジナル飼料を完成させ、地黄卵が誕生しました。こだわりの卵はクリーミーで濃厚、通常の卵よりビタミンEが豊富なことから美容効果もあるとのこと。全国農業コンクールで優秀賞を獲得し、全国的にも高い評価を得ています。

「鶏は、管理する側が少しでも油断すると小さな卵しか産まなくなったり数が減ったりするなど、とても繊細な生き物です。三六五日いつも気が抜けません」。二十五歳の時に父親から養鶏場を受け継いで以来、「安全で安心な、美味しい卵を作りたい」という想いで鶏達と向き合う日々。お客さんからの「美味しいね」という一声がやりがいに繋がっていると言います。

「ある卸先から、価格等を理由に出荷を断られた事があったのですが、お客さんから地黄

### 卵と鶏と 向き合う日々

卵を置いてほしいという声が集まり、三ヶ月後には復活しました。生き物相手なので大変な面もありますが、地黄卵を買ってくれるお客さんがいることが生きがいにもなっています」。

生まれも育ちも宮若市の荒牧さん。困っていることがあれば、積極的に助けてくれる思いやりある人が宮若には多いと言います。美味しい水や山に囲まれた自然豊かなところも卵づくりには最適なのだとか。

「これまで本当に人に恵まれて、支えられてきたと感じています。七十五歳まで現役で、美味しい卵を作り続けたいです」。そう満面の笑みで語る荒牧さん。この笑顔も、美味しい卵ができる秘訣なのかもしれません。



毎朝8時から11時までに行っている卵の梱包作業。月1万ケース以上の出荷もあるとのこと。スーパー以外にもゴルフ場のお土産や企業の展覧会など、多くの人のもとに届く。



# 暮らしを 応援する制度

インタビューの中にも時折でてくる制度の概要をご紹介します。  
詳しい内容はHPをチェック！



## 01 家賃補助制度

月々の負担を軽減!

市内の民間賃貸住宅にお住まいで、新婚世帯、子育て世帯の方に家賃の一部(月額上限2万5千円)を最長36ヶ月(3年間)にわたって補助します。



最高  
90万円

宮若市の家賃補助  
月々2.5万円



※最長36ヶ月(3年間) ※交付は年払となります。

### 新婚世帯家賃補助金 [転入者に限りません]

- 対象者** (全てに該当する方)
- 夫婦の合計年齢が70歳未満の新婚夫婦  
※ただし、婚姻届の提出日前日において、夫婦いずれかが市外住民である場合、年齢制限は適応しない。
  - 婚姻届が受理されて3年以内の宮若市内に居住している夫婦  
※新婚世帯家賃補助金は、再婚でも対象となります。
- 対象住宅**
- 新婚夫婦のいずれかが自己の居住の用に供するために賃貸借契約を締結した住宅

### 子育て世帯家賃補助金 [転入世帯限定]

- 対象者** (全てに該当する方)
- 就学前のお子さんを扶養し同居されている方
  - 宮若市に転入してから3年以内の方
  - 転入前の3年間が宮若市外住民であること
- 対象住宅**
- 申請者が転入後、新たに民間賃貸住宅の賃貸借契約を締結し、居住を開始した住宅

※その他、対象者・家賃の条件等があります。詳しくはお問い合わせください。

## 02 定住奨励金制度

夢のマイホーム取得を応援!



市内に住宅を新築または購入した人を対象に住宅にかかる固定資産税相当額を奨励金として7年間交付します。

宮若市に家取得で  
最高105万円  
最大7年間交付

※年間上限15万円の交付を受けた場合。  
※毎年度10月末までに申請する必要があります。

- 対象者**
- 宮若市に永住(定住)することを目的として、市内に自己の居住のための住宅及び土地を取得した人  
※ただし、次の場合は対象外となります。  
・贈与や相続されたもの  
・現在、市内に住宅を所有している人が、この住宅を建て替え、またはさらに住宅を取得する場合  
・市税及び国民健康保険税並びに各種使用料等の滞納がある人  
・過去に宮若市から定住奨励金の交付を受けた人

- 対象となる住宅**
- 平成20年1月2日から平成36年12月31日までに取得し、登記が完了した住宅  
玄関、トイレ、台所、浴室及び居室があり、床面積が50平方メートル以上280平方メートル以下
- 対象となる土地**
- 対象となる住宅を建築するために取得し、平成36年12月31日までに登記が完了した土地  
330平方メートル(100坪)を超える部分については対象外

## 03 多子世帯保育料減免制度

兄弟姉妹がいたらお得!

18歳まで(18歳到達後の最初の3月31日まで)の児童を養育している世帯から保育所等に入所した場合、第2子(半額)、第3子以降(全額)の保育料を軽減します。

|     |       |   |    |
|-----|-------|---|----|
| 保育料 | 第2子   | → | 半額 |
|     | 第3子以降 | → | 無料 |

## 04 「子ども医療費」支給制度

医療費支給!

宮若市内の子育て世帯に対し、子どもの医療費の一部をその保護者に支給します。

|                |           |                          |
|----------------|-----------|--------------------------|
| 未就学の乳幼児        | 通院・入院を問わず | 自己負担額なし                  |
| 小学1年生から中学3年生まで | 通院        | 自己負担額 1,200円/月 (医療機関につき) |
|                | 入院        | 自己負担額 500円/日 (月7日上限)     |

# “宮若のお米は美味しい!”って聞くけれど、 そこんトコ教えてください

つやつやふっくら、口いっぱい広がる甘みともっちり食感。  
なぜこんなにおいしいの? どこで買えるの? 教えて、優しい農家さん!

■教えてくれた人  
平尾 孝市 さん



宮若市の認定農業者として、米と野菜を栽培し、近年は古代米である黒米の活用に取り組み。「第19回米・食味分析鑑定コンクール国際大会」では、特別優秀賞受賞。

## “宮若は、何百年も前から美味しいお米の産地なんですよ”



「夢や未来が語れるようなお酒をつくらう」をテーマに造られたお酒。宮若産の酒米を50%まで磨いて造った純米吟醸酒。まろやかでほどよい甘さが残るワインのような味わい。



自然豊かな宮若の環境が凝縮されているお米。土づくりと恵まれた風土、ミネラルたっぷりの地下水とその気候が他にはない宮若米を育てる。

**Q** お米をつくる環境としてはどうですか?  
**A** 宮若市は四方を山に囲まれた盆地のため寒暖差が大きく、清らかな水にも恵まれ、古くから良質な米の産地として名をはせてきました。“宮に仕える田んぼ”と書いて宮田と呼ぶように、お米に関する地名が多いのも特徴です。西山に夕日が遮られ、西日が早目に落ちるので夜はぐっすりとお米が眠り、甘みを蓄えるのです。



“美味しいお米をつくるんだ”という気持ちを持って試行錯誤を繰り返して、一生懸命に米づくりに取り組む認定農業者の姿勢が、美味しいお米ができる秘訣。ぜひ味わってほしいですね。

**Q** お米作りのこだわりを教えてください  
**A** “美味しいお米をつくるんだ”という気持ちを持って試行錯誤を繰り返して、一生懸命に米づくりに取り組む認定農業者の姿勢が、美味しいお米ができる秘訣。ぜひ味わってほしいですね。

**Q** どんな取り組みをしているの?  
**A** 国内最大規模の米コンクール「第17回米・食味分析鑑定コンクール国際大会」で、宮若のお米が金賞を受賞したことをきっかけに、「宮若うまい米コンクール」を開催しています。宮若で作られるお米全体の品質・ブランド力向上を目的としており、よりよい米作りのために農家同士で勉強会や情報交換をするなど、切磋琢磨しています。

### 新鮮・おいしい農産物が買えるお店

農家さんが愛情たっぷりに育てた野菜や米、加工品などがお手頃価格で購入できる。早い時間に売り切れるものもあるため、来店は午前中がおすすめ!



**ドリームホープ若宮**  
宮若市脇田 224-1  
営業時間: 9:00 ~ 17:00  
定休日: 盆、年末年始



**四季菜館**  
宮若市本城 555-1  
営業時間: 9:00 ~ 16:00  
定休日: 水曜日



# 子どもの活動から生まれる地域とのつながり

家族5人で暮らす吉永恵理子さんご家族。お子さんの活動を通じて自然と大人同士の交流が生まれると言います。

## 宮若で子育て

### 07

宮若市と

子育てにやさしいまち



1) 絵本の読み聞かせて過ごす家族団らんの時間。2) 宮若リコリスにある子育て支援センターたんぼぼ。初対面の親子でも自然と会話が生まれる。3) 図書館で絵本探し。

## Profile

名前  
吉永 恵理子さん

職業  
看護師

宮若市の好きなところ  
人の温かさ。自然豊かで、落ち着く町並み

子どもと遊びに行く場所  
図書館がある生涯学習センター「リコリス」。広々とした公園がある「西鞍の丘総合運動公園」

## のびのびと子育てできる環境

小学六年生の長女が小学校に入学するタイミングで市外から引っ越してきた吉永さん。教育環境に恵まれているという話を聞き、宮若市を選びました。子育て交流会に参加した保護者同士でイベント情報を共有するなど、楽しく子育てしようという想いを感じるそうです。「仕事復帰を始めた頃、子育て支援センターを利用したんです。安心して預けられるのでとても助かりました」。

また、休日には長女が通う劇団宮若レインボーカンパニーの活動に参加し、衣装作りなどを行っているとのこと。「小さな子から社会人まで、色んな年代の人と舞台をやり遂げることで度胸がついたし、社会性も身についたように思います。学校だけでなく子どもの活動に関わることで自然と交流が生まれ、人の温かさに触れることができる。宮若の良いところですね」。

# 住み始めて気づく、まちの魅力

新しくできた住宅団地「光陵 WONDER! GARDENS」に暮らす穴戸利文さんご家族。2017年8月に完成したばかりのマイホームで、充実した日々を過ごしています。

## 宮若で新生活

### 06

宮若市と

広々とゆとりある住空間



1) 近所の公園でのコマ。2) 小上がりの書斎スペースで親子のくつろぎタイム。晴れた日には、家の前のブランコで遊ぶ。3) 子どもがのびのびと遊べる住空間。

## Profile

名前  
穴戸 利文さん

職業  
医療事務

宮若市に住むきっかけ  
奥さんの実家が近く、家賃補助があるため(家を建てる前)

子ども連れでよく行くお店  
「味噌ごろみよし」。「お好み焼きはる」。「本場インド料理ルバ」

## 住みよい空間で心地よい暮らしを

宮若市の広報紙で光陵ワンダーガーデンズの分譲案内を見て、すぐに応募したという穴戸さん。この場所に家を建てた理由は、「定住奨励金制度」や第二子以降保育料の減免など、暮らしを応援する制度が充実していることや、静かで広々とした環境で子育てできることだと思います。

休日には近所の公園で子どもと遊び、こだわりが詰まった家でのんびり過ごすことが多いとのこと。「引っ越した当初は不安な部分もありましたが、博多・小倉まで車で一時間程度、近くにスーパーや病院もあり、生活する上で不便だと感じたことはありません。宮若に住まないのはもったいないですよ」。

知人にも宮若への引っ越しをおすすめしているという穴戸さん。新しい家での新しい暮らしを満喫しています。

## 親子で楽しめる交流スポット



### 宮若リコリス 図書館

天井が高く開放的な空間でのんびり読書ができる。絵本の冊数も多く、布絵本の貸し出しや月に数回おはなし会も開催している。



### 子育てサロン鞍手電徳高校

校舎内にサロンスペースがあり、授業や休み時間に生徒と親子が交流できる。季節のイベントや座談会など、親子の出会いの場となっている。



### 子育て支援センター

市内3カ所(さくらんぼ・たんぼぼ・たけんこ)にあり親子で交流できるほか、一時預かりや育児相談なども行っている(写真はさくらんぼ広場)

## 親子で遊べるおでかけスポット



### 犬鳴川河川公園

犬鳴川の河川敷に全長850メートルにわたって整備された水と緑の癒し空間。春は桜、秋は彼岸花が咲き、お散歩コースにぴったり。



### いこいの里「千石」

春には桜とつつじが咲き誇り、夏には清流と鮮やかな緑で涼感あふれ、水遊びやキャンプ、森林浴が楽しめる。



### 西鞍の丘総合運動公園 わんぱく広場

スウェーデン生まれの珍しい遊具や広々とした芝生、公園のシンボルの小高い丘など、広い園内で思いきり体を動かして遊ぶことができる。

EVENT



## 若宮八幡宮放生会

江戸時代から続く筑前三大放生会のひとつ。勇壮な山笠や大名行列など、脈々と受け継がれる伝統行事を間近に感じることができる。

### Information

とき／偶数年の10月の金土日の3日間  
ところ／宮若市水原395 (若宮八幡宮)

SPOT



## ホテル

5月下旬から6月頃にかけて、清らかな水と空気に包まれた田園地帯でホテルを鑑賞できる。6月にはほたる祭を開催し、ステージイベントやホテル鑑賞も行われる。

### Information

宮若ほたる祭  
とき／6月第1土曜日  
ところ／ドリームホープ若宮付近の会場。年によって変わるためHPをチェック。

SPOT



## 竹原古墳

6世紀後半に築造された装飾古墳で、歴史・美術的に高く評価されていて国指定史跡になっている。一般公開されていて、誰でも気軽に見学できる貴重な古墳。

### Information

受付時間／9:00~16:00 (月曜休み)  
ところ／宮若市竹原 731-2 (諏訪神社境内)  
料金／大人 215 円

EVENT



## ふるさと祭り

ステージイベントのほか、宮若の魅力盛り込んだ特産品即売や遊びのコーナー、模擬店、お楽しみ抽選会など、一日ゆっくりと楽しめる。

### Information

とき／10月の最終日曜日  
ところ／宮若市乙野 601 (西教の丘総合運動公園)  
※芝生でまったりくつろげる。ピクニック気分ですごせよう。

SPOT



## 雲海

黒丸地区にある清水寺で、冬の時期、昼夜の寒暖差など気象条件が揃うと発生し、早朝から多くのカメラマンが絶景を収めに訪れる。雲海の隙間から見える新幹線の光や日の出も幻想的。

### Information

ところ／宮若市黒丸 1558 (清水寺)  
※清水寺は山の上に佇むお寺。暖かい服装で出発しよう。

SPOT



## 光陵グリーンパーク

市の東部にある総合運動公園。公認規格の野球場では高校野球予選や九州六大学野球等の試合も行われる。2018年6月には室内でスポーツが楽しめる多目的屋内施設が完成予定。

### Information

ところ／宮若市磯光1668-2  
※今後、テニスコートや芝生広場も完成予定。園路には健康遊具などもあり、健康づくりにぴったり。

宮若市  
イメージ  
キャラクター

## 宮若追い出し猫

地元で伝わる民話から生まれたキャラクターで、両面に顔があり、“怒った顔で災いを追い出し、笑顔で福を招く”縁起物として親しまれている。市内には追い出し猫横丁や巨大モニュメント、猫塚公園、交流スペースなど猫モチーフが満載。



EVENT



## 竹灯籠

地元の黒丸むらおこしの会が主催する年越しイベント。毎年新たに制作する趣向を凝らした竹灯籠デザインも見どころで、幻想的な光の世界は年末の風物詩になっている。

### Information

とき／12月30日 (日没から21時) 31日 (日没から0時)  
ところ／宮若市黒丸1558 (清水寺)

宮若インスピレーションツアー



五感を通して感じることでできる場所やイベントがこのまちにはあります。四季折々の自然に触れるもよし、お祭りに参加するもよし、歴史に想いを馳せるもよし。宮若に暮らす人々のインスピレーションから「宮若に行けば何かあるかも」とインスピレーションを受けたそのあなたに、宮若のおすすめスポットやイベントを少しだけご紹介します。

詳しくは「宮若市 ぐるわく」で検索!

宮若市 ぐるわく

検索



1) 防塵服を着用し、クリーンルームで作業を行う。  
2) 自宅で過ごす家族団らの時間。「定住に関する制度が充実しているため、新築一戸建を検討している家族や若い夫婦にとって住みやすいまちだと思います」(加藤さん)

## 09

宮若市と

### 職住近接の暮らし

半導体を製造する株式会社ジェイデバイスで勤務する加藤竜一さん。勤務地から車で10分ほどのアパートで、家族3人で暮らしています。

### 仕事も子育ても充実できる環境

結婚と同時に、職場から近いエリアで家探しをしていた加藤さん。宮若を選んだ決め手は、新婚・子育て世帯を対象にした「家賃補助制度」があったからといます。「家は市街地から少し離れていますが、子育て支援センターなどが近く、子育てをする上でも不便さは感じません」。

職場では、ワイヤーボンディングという金や銅のワイヤーをチップに配線する工程を担当。休日は、保健センターパレットで子どもと遊んだり、家から近い若宮インターを利用して遠出することも。「都市部から宮若に帰ってくると、自然豊かで静かな環境にほっとしますね」。

職場が近いこともあり、帰宅後も子どもと過ごす時間が多く取れるという加藤さん。職住近接だから叶えられる暮らしが、宮若なら実現できます。

#### Profile

名前  
加藤竜一さん

職業  
エンジニア

趣味  
車をいじること

## いつも自然体でいられる “風通しのよい” 家

トヨタ自動車九州株式会社に勤務する江口暢彦さん。

休日は、DIY で家具の製作や自宅に友人を迎え BBQ を楽しむなど、充実した宮若生活を家族とともに楽しんでいる。



1) 職場では組み立て部門に所属 2) リビングには子ども達お気に入りのハンモックもある 3) 室内から望む美しい田園風景 4) 手づくりのバーカウンターでコーヒーを淹れて飲むことが多い 5) ほっとする家族団らの時間

## 宮若に暮らし、宮若に勤める

職場と自宅が近いからこそ、叶えられる暮らしがある。

## 08

宮若市と

### 暮らしを楽しむDIY

## 10

宮若市と

### 書く喜び

高校卒業後、宮若市役所に入庁し市民生活課で戸籍を担当する石井陽さん。働きながら、仕事終わりや休日には書道を楽しんでいます。

### 書と向き合い、地域をみつめる

宮若市出身の石井さんが、小学生の頃から続けているのが書道です。書の奥深さに魅了され、今では準師範の資格を持つ程の腕前に。毎年十一月に開催される宮若市文化祭や美術館の展示会など、各コンクールに応募しています。

石井さんにとって大きな出来事となったのが、成人式で冊子の表紙を飾った「祝新成人」の題字を書いたことです。「書いた文字と一緒に撮影してくれる人が多かったのが嬉しかったです。地域の方に『大きくなったね』と言われた時には、まちの人からも見守られているんだと感じました」。

石井さんの仕事は、毎日市民の方と接する機会が多い。書道では自分と向き合い、仕事では地域の人と向き合いながら、育ててくれたまちへの恩返しをしていきたいそうです。

#### Profile

名前  
石井陽さん

職業  
公務員

好きな歌手  
BUMP OF CHICKEN

### 好きなものに囲まれた空間の心地よさと手作りの楽しさ

「家から眺めることができ、見晴らしのよい田園風景など、自然豊かなロケーションが気に入っています」。そう話すのは、トヨタ自動車九州株式会社に勤務し、レクサスの組み立て最終工程に携わっている江口暢彦さんです。就職をきっかけに地元である北九州市門司区から宮若市へ移住。結婚後、偶然通りかかった現在の自宅の土地に一目ぼれ。静かな周辺環境や通勤が車で5分圏内という立地に加え、「定住奨励金制度」も後押しになり、この地に家を建てることを決めました。

「家具を作るのが好きなので、音を気にせず作業できるのも、この場所の好きなのところです」。小さい頃からモノづくりが趣味という江口さん。

自宅には、手づくりの家具が並び、まるでカフェのよう。家探しの時から暮らしのイメージを具体的に描いていたといい、随所に「暮らしを楽しむ」ことに対してのこだわりが反映されています。休日には子どもたちとの時間を大切にしたいと、習い事のサッカーとバレエの送迎や試合の応援に出かけることがほとんど。また、「毎年家族で西の丘で草スキーをしたり、千石峡で川遊びをしたり、自然豊かな場所に出かけています。家でゆっくり家族と過ごす時間も落ち着きますね」。

夏には、自宅のテラスで好きな音楽を流しながら友人とパーベキューを楽しんでいるとのこと。江口さんの宮若での暮らしは、今後ますます充実しそうです。

#### Profile

名前  
江口暢彦さん

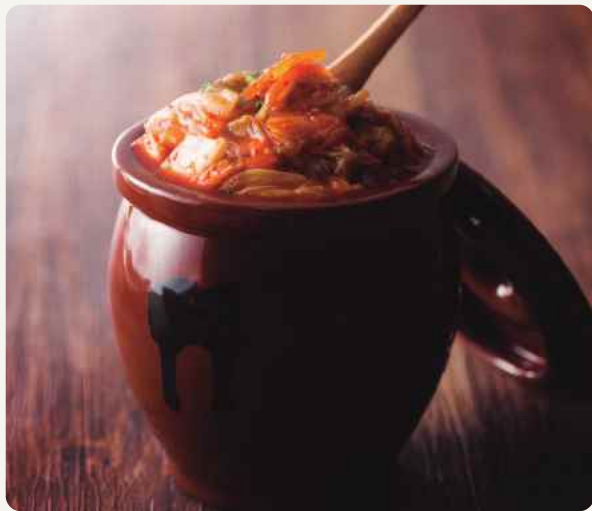
職業  
自動車製造

以前に住んでいた場所  
北九州市門司区

移住のきっかけ  
就職のため

いま住んでいる場所の自慢  
窓の外に広がる美しい田園風景。人目を気にせず自由に過ごせる環境

お気に入りの手作り家具  
テレビボード、ディスプレイラック



## カミナリピクルスの キムチ



国産の白菜を地元から湧き出る天然水を使用したタレに漬け込みました。職人がこだわり抜いて造ったタレと自然の恵みをふんだんに使用したキムチは酸味が少なく「コクのある旨み」と「風味豊かな辛さ」のある味わいに仕上がっています。地元でも評判のキムチです。



宮若の「おいしい!」を体験してほしい。

豊かな自然の中で育った農産物や

その素材の良さを感じる加工品たち。

何度でも食べたいくなる、誰かに教えたいくなる逸品をご紹介します。

## 瀬川菓子舗の 黒丸

追い出し猫の  
お菓子もあるよ♪



伝統の味を守り続ける創業90年超の老舗、瀬川菓子舗。宮若市の地名から名付けられた「黒丸」は、程よい甘さのこしあんをギッシリと詰め込んだ黒糖饅頭を米油で揚げた、かりんとうのような食感が楽しめる揚げ饅頭です。



## ぶどう



認定農業者がつくる  
こだわりのぶどうは  
甘くてジューシー♪

気候や風土に恵まれた宮若市の果物は、生産者のこだわりや愛情も加わってどれも上質なもののばかり。特に、栽培の盛んな巨峰やシャインマスカットなど、ぶどうの美味しさは折り紙つきです。夏から秋にかけて、各農園で直売やぶどう狩りが楽しめます。



## 竹千寿の 竹ちまき



笹ちまきも人気!

爽やかな香りの真竹の中に、九州産の素材を使用した風味豊かでもちもちのちまきがぎっしり詰まっています。竹筒の製造から全て時間をかけて丁寧に作られており、お取り寄せや贈り物として人気です。冷凍なのでいつでも手軽に食べられるところも嬉しい。



## 森下牧場の 宮若牛

ブランド牛にも  
負けない美味しさ!



耕畜連携した循環型農業に取り組んでいる森下牧场。牛たちも宮若のおいしい水とお米で育っています。ドリームホープ若宮で購入できるほか、ふるさと納税でも特に人気の返礼品です。

## 旬の食材を堪能できる温泉宿

# 12

宮若市と

福岡の奥座敷として人気の協田温泉街にある旅館「桃源境」。  
倉富弘一さんご夫婦が、笑顔で迎えてくれます。

温泉と自然を満喫



1) 写真は男湯。日帰り入浴1人500円。2) 客室は全5室。写真は、約20名収容できる一番人気の「松の部屋」。3) 調理を担当するのは弘一さん。川蟹とりんごグラタンがお薦め。

### 桃源境で感じる四季折々の自然

昭和三十六年創業の老舗旅館「桃源境」。二代目の主人、倉富弘一さんは大学卒業後、関東でサラリーマンをしており、当時は家業を継ぐ気はなかったと言います。

「平成八年、旧若宮町の国民宿舎だった旅館を父が買い取ったことをきっかけに、ふるさとに帰ることを考え始めました」。いずれば旅館を継がなければとの思いから、五年間料理の修行を行い、三十歳の時に接客業をしていた妻の昌子さんを連れて、桃源境を引き継ぎました。「毎日天然の温泉に入れて、耳を傾けると野鳥のさえずりや川のせせらぎが聴こえるこの場所は、やはり落ち着きます」。

「アトピー性皮膚炎が悩んでいたが、宮若に嫁いってから治ってしまいました。温泉の効果だと思っっています。子どもたちは、地域の人に見守られながらのびのびと育っていますよ」と昌子さん。

入湯はもちろん、宴会場として、季節の食材を使用した創作料理を堪能できるのも楽しみのひとつ。何度でも通いたくなる温泉と季節の献立を満喫したい。

弘一さんと妻の昌子さん。家族経営で旅館を切り盛りしている。

とろげんきょう  
桃源境  
宮若市協田 468-9  
0949-54-0322  
定休日 不定休

## 米粉を使った、体にやさしいパン

# 11

宮若市と

こだわり素材の米粉パン

福丸商店街(追い出し猫横丁)にある米粉パン屋「豆米」。  
おいしいパンの秘訣は、店主である栗原美香さんの真摯な取り組みにありました。



1) 福丸商店街にあるお店。大きな看板が目印。2) 焼き立てパンのいい香りに包まれる店内。お気に入りのパンを見つけてみては。3) 米粉のクッキーやシフォンケーキなど、やさしい甘さのお菓子が並ぶ

### まちの美味しいパン屋さん

「元々自分の子どもにアレルギーがあったので、安全な食材にこだわっていました。食材について学ぶ中でお米でパンが作れることを知り、子どもたちに食べさせたという思いでパン屋を始めたんです」。そう話すのは店主の栗原美香さん。米粉を使った食パンや総菜パン、クリームパンなど種類が豊富で、一度食べたらずみつきになるもちりとした食感。リピーターも多いそうです。

栗原さんが宮若にお店を出すきっかけとなったのは、人とのご縁だと言います。知人から現在の場所を紹介してもらい、宮若産の卵(地黄卵)など食材・具材はできるだけ地元物を使用。生産者の顔がみえることを大切に、パン作りをしています。

口コミで人気広がっていき、パン屋の隣に米粉を使ったお菓子のお店も新しくオープン。「お菓子のお店はカフェスペースもあるので、訪れたお客さんにのんびり過ごしてほしいですね」と今後の想いを語る栗原さん。

この場所から生まれる、できたての美味しいパンやお菓子が、地域の人に愛され続けていきます。

まめこめ  
米粉パン屋 豆米  
宮若市福丸 181-5  
0949-28-9499  
10:00 ~ 18:00  
定休日 月曜日

店主の栗原さん(左)とスタッフの吉井さん。 24

Facility Information

# 施設案内

脇田温泉を愉しむ

## ルートイングランティア若宮

地下1,000mの源泉から湧き出るお湯をたっぷり使える「かけ流し」の天然温泉。内風呂・岩風呂・薬湯・壺湯・岩盤浴・サウナ・水風呂などが楽しめる。館内には無料休憩所、リラクゼーションルーム、グラウンドゴルフ場・テニスコート等スポーツ施設も充実、大小の宴会場もある。

### Information

宮若市脇田778-1  
0949-54-0305  
1泊2食 9,300円～  
客室数/和室13・洋室3・和洋室11・広間2  
入浴 780円(土日祝日100円アップ)



四季を感じながら、ゆっくりのんびり寛ぐ

# 脇田温泉ホッピング

## お宿 桃源境

お客様一人ひとりへのおもてなしを大切にしたい、という姿勢と心配りが、館内のすみずみまでいきわたっている。また、地元の人にも定評がある季節の和食創作会石は気兼ねなく部屋食でも楽しめる。

### Information

宮若市脇田468-9  
0949-54-0322  
1泊2食 / 10,500円～  
客室数/和室5・大広間1  
入浴のみ 500円



## 楠水閣・湯乃禅の里

男女合わせて10種の露天風呂や家族風呂など、温泉施設が充実した宿。食事処・エステ・ほぐし処・休憩処など寛げる施設も完備しており、宿泊はもちろん日帰りでもゆっくり楽しめる。露天風呂から望む四季折々の景色で、心身ともに安らごう。

### Information

宮若市脇田507  
0949-54-0123  
1泊2食 / 15,270円～  
※客室露天23,910円～  
客室数/和室29(客室露天4)・大広間3  
入浴のみ850円



## 食育温泉の宿 湯原荘

脇田温泉は、ここ湯原荘が創業したのがはじまり。女将は生野菜を使った人形劇「ベジタブル」を主宰し、福岡県内外で食育講演をしている。女将手作りの田舎料理、タケノコ料理が大好評。

### Information

宮若市湯原1409  
0949-54-0320  
1泊2食 / 8000円～ ※1日1組限定  
客室数/和室7・広間1  
入浴のみ 不可



## 旅館 喜楽荘

そばを流れる犬鳴川のせせらぎや、鳥のさえずりなど、日常の喧騒を忘れるのには最適な庭園露天風呂。また、広めに造られた客室では、個人客・団体客どちらでもゆっくと寛げる。景観の良い和洋室は人気が高い。

### Information

宮若市湯原1398  
0949-54-0611  
客室数/和室10・和洋室2・  
大広間3・中広間1  
入浴のみ 500円(土日祝日のみ)



歴史と豊かな自然に  
めぐまれた温泉郷

古くは奈良時代、歌人の大伴旅人も旅の疲れを癒やしたとされる脇田温泉。犬鳴川のふもと静かな山あい、遠賀川の支流・犬鳴川沿いに広がります。硫黄分を含むアルカリ性単純泉は肌がツルツル、スベスベに…。世代を問わず、「美肌の湯」として多くの人たちに親しまれています。

脇田温泉街近くには、犬鳴川沿いにわたって延びる遊歩道「俳句の道」や新鮮な野菜・加工品を販売する「ドリームホープ若宮」、周囲は美しい自然にふれ、春は桜や新緑、夏は乱舞するホタル、秋は紅葉、冬は雪景色…。四季折々の美しい景色を眺めながらなんとも贅沢な空間で温泉を堪能できます。

ゆっくりのんびりお楽しみください。

# MAP INFORMATION

- 桜スポット
- 彼岸花スポット
- ぶどう狩りスポット (8・9月頃)

# 宮若市 散策マップ

自然に会いに。ひとに会いに。食に会いに。  
歴史に会いに。ちょっと疲れたら温泉につか  
ってひとやすみ。足を運ぶ先々が目的地に  
なる、そんな魅力があふれるまちです。



子育て  
支援センター  
「たけんこ」

04 来々軒

追い出し猫グッズ  
はここで買える!

追い出し猫  
本舗

豆米 11

ハートフル

MON

宮田  
バス停

四季菜館

河川公園

生涯学習センター  
宮若リコリス  
(図書館・子育て支援  
センターたんぼぼ)

宮若市役所

マリーホール  
宮田

消防署

文化センター  
& 中央公民館

宮若の  
ふつうじゃない、ふつう

## 1時間使用料金100円の 健康増進室

ハートフル内にある健康増進室は、充実した運動器具の他に、更衣室にシャワーも備わっています。宮若市民の健康の秘訣はこの場所にあり。



1時間の使用料金  
**100円**  
運動器具などの使用料も含まれています

## JRの駅は無い。 高速バスはめっちゃ止まる

西鉄天神高速バスターミナル方面行きの平日7時台には、なんと15回も停車します。福岡の中心街にも好アクセスのまちです。



西鉄天神高速  
バスターミナル方面行  
最大 **15** 台数  
停車 /1h  
※平日 7:00 台の  
運行状況の場合

## とにかく水が、 ばりおいしい

宮若の水道水はミネラル豊富でおいしさと水質に自信あり。厚生労働省が基準を定める「おいしい水」の要件を満たしています。



# 宮若市 基本情報

## 宮若市とは

福岡県にある自然豊かな田舎まち。福岡市と北九州市のちょうど真ん中にある宮若市は、平成18年2月11日、宮田町と若宮町が合併し誕生しました。おいしい水で育ったおいしいお米に野菜、くだもの、自然の恵みあふれるまち。トヨタ自動車九州株式会社をはじめとする自動車関連企業が集積するものづくりのまち。歴史ある祭りや文化財に思いを馳せ、温泉に心も体も癒される憩いのまち。小さいながらも「キラリ」と輝くまちづくりに取り組んでいます。

## アクセス

高速のインター有り。JR駅は無し。  
車を所有して暮らすには最高。

若宮インターを起点に各方面にアクセスしやすく、福岡・北九州方面の高速バスも停車します。

## 宮若の 学校

5つの小学校と2つの中学校がある宮若市。学校再編に伴い新築した中学校をご紹介します。



### 宮若東中学校

平成25年4月開校。広大な敷地を有効活用し、冷暖房完備の体育館は災害時避難所として活用できるように整備されている。



### 宮若西中学校

宮若西小学校との施設一体型小中一貫校として平成29年4月開校。木を基調とした開放的な校舎で9学年の生徒が学んでいる。

## ウェブサイトを活用して 情報収集



宮若市の公式ホームページ  
**宮若市役所**  
<http://www.city.miyawaka.lg.jp/>



宮若の魅力発信サイト  
**宮若ナビ**  
<https://miyawaka-navi.com/>

## STAFF LIST

発行 宮若市 総合政策課  
〒823-0011 福岡県宮若市宮田29-1  
Tel: 0949-32-0512  
<http://www.city.miyawaka.lg.jp/>

企画・編集 小野 義明  
デザイン 伊藤 拓胤  
撮影 小田 雄大

イラスト 今道 安里紗  
SPECIAL 取材にご協力いただいた  
THANKS 市民の皆さん

|            |                       |                             |              |                |
|------------|-----------------------|-----------------------------|--------------|----------------|
| マイカー<br>利用 | 福岡方面より                | 約 40 分<br>高速道路              | 若宮 IC        | 約 15 分<br>一般道路 |
|            | 北九州方面より               | 約 45 分<br>高速道路              | 宮田スマート IC    | 約 10 分<br>一般道路 |
| バス<br>利用   | 福岡方面より                | 博多駅<br>約 70 分<br>JR 九州バス    | 宮田バス停        | 約 5 分<br>徒歩    |
|            |                       | 天神郵便局前<br>約 35 分<br>高速バス    | 若宮 IC<br>バス停 | 約 15 分<br>タクシー |
|            |                       | 博多バスターミナル<br>約 35 分<br>高速バス |              |                |
| 北九州方面より    | 小倉駅<br>約 50 分<br>高速バス |                             |              |                |
| 電車<br>利用   | JR 直方駅より              | 約 20 分<br>JR 九州バス           | 宮田バス停        | 約 5 分<br>徒歩    |
|            | JR 福岡駅より              | 約 40 分<br>JR 九州バス           |              |                |

※本誌に掲載している情報は2018年2月現在のものです。それ以降は制度等の内容が変更される場合がありますのでご了承ください。



